

学校設定教科「五高ベーシック」について

秋田県立五城目高等学校

ねらい

1 合格者のニーズに応えます

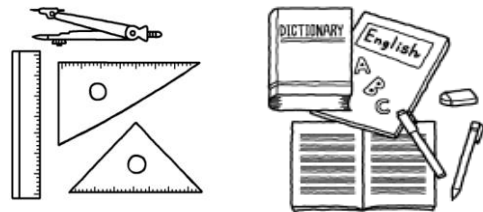
本校の合格者の多くが、入学後の学習に不安を抱いています。そこで高校入学後に中学校の学習内容を復習する機会をつくることで、高校での学習への不安を取り除きます。

2 高校の学習にスムーズに接続します

高校の学習は、中学校での学習を前提にしています。中学校で習っても理解が不十分であったり忘れていたりすると、最初からつまづいてしまいます。中学校の復習をすることによって、スムーズに接続できます。

3 「五高ベーシック」の学習習慣が高校生活の充実につながります

授業がわからなければ学習の意欲がわきません。高校の学習は、家庭学習の習慣がなければ身につけません。中学校の復習というわかりやすい部分からスタートして、高校の学習につなげていき、学習習慣を身につけることによって高校生活を充実させ、卒業後の進路達成をめざします。



やり方

- ①□ 1週間に、2時間行います。
- ② 内容は英語、数学の2教科です。
- ③ 習熟度別クラスで実施します。
- ④ 中学校での学習内容を「もう一度教える」講義を行い、その後「演習」をしますが、グループにより複数の先生方が指導します。
- ⑤ 取り組んだプリントの枚数や、プリントが正しく書けているか、授業態度、確認テストにより評価を行います。

《五高ベーシックの実施について》

1. 火曜日と木曜日の6校時に行います。

2. 1年生3クラスを6解体します。

①次のようになります。

第1グループ（1G）		第2グループ（2G）	
1年A組生徒	1年B組 前半生徒	1年B組 後半生徒	1年C組生徒
習熟度別3グループ		習熟度別3グループ	

☆英語Ⅰ、数学Ⅰの授業も同じ習熟度別グループで授業を行います。

②指導はクール単位で行います。

クールは次のようにします。1クラスに対し、各グループは連続した4回の授業を行います。終了したら他クラスにおいて同様に行います。全てのクラスに対し、英語、数学の指導を終えたら、次のクールに移ります。

【例】

第1クール				
	4月12日（火）	4月14日（木）	4月19日（火）	4月21日（木）
1G	数学1回目	数学2回目	数学3回目	数学4回目
2G	英語1回目	英語2回目	英語3回目	英語4回目
第1クール				
	4月26日（火）	4月28日（木）	5月10日（火）	5月12日（木）
1G	英語1回目	英語2回目	英語3回目	英語4回目
2G	数学1回目	数学2回目	数学3回目	数学4回目
第2クール				
	6月2日（火）	6月9日（木）	6月14日（火）	6月16日（木）
1G	数学5回目	数学6回目	数学7回目	数学8回目
2G	英語5回目	英語6回目	英語7回目	英語8回目

以下省略

3. 授業は次のように行います。

①講義を行った後に演習を行う、というのが授業の基本形です。

②6グループに対して10人の先生方が指導に当たります。

現在のところ次のような配置を予定しています。

【英語】

英語科3人先生方の他に2人の先生方（国語科、芸術科）と一緒に指導してくれます。

英語科の先生方は、習熟度別3グループにそれぞれ分かれます。国語科、芸術科の先生方は必要なところに分かれて配置されます。

【数学】

数学科3人先生方の他に1～2人の先生方（理科1～2人）と一緒に指導してくれます。数学科の先生方は、習熟度別3グループにそれぞれ分かれます。理科の先生方は必要なところに分かれて配置されます。

③それぞれの専門の先生が講義を行います。

英語内容の授業の時は、英語科教員が講義を行い、演習は全員で指導に当たります。また数学内容の授業の時は、数学科科教員が講義を行い、演習は全員で指導に当たります。

④演習プリントは、原則として自己採点します。

⑤演習プリントは、授業時間内に先生がチェックします。チェックしきれなかったプリントは回収してチェックし、次の時間に返却します。

⑥適宜、確認テストを行います。

4. 評価については次のように行います。

①「知識・理解」「関心・意欲・態度」の2観点から評価します。

②「知識・理解」は、英語的内容、数学的内容ともに「プリント得点」「確認テスト」で評価します。ただし配点内訳は異なります。

③「関心・意欲・態度」は、英語的内容については「授業態度」「提出枚数」で、数学的内容については「授業態度」で評価します。「授業態度」の配点は異なります。

5. その他

①テキスト、演習プリント、ファイルのサイズはA4です。

②「英語」、「数学」、2つのファイルを学校で用意します。

③ファイルにはテキストや演習プリントをファイルします。

6. 朝学習

五高ベーシックでは国語を実施しません。しかし、国語（特に現代文）の力はあらゆる教科の基礎になる非常に重要な力です。朝学習では現代文力を鍛えることを狙っています。国語の授業とあわせて一生懸命取り組んでください。また毎日新聞を読む、図書館をたくさん利用して読書力を高めるなど、日常生活のあらゆる場面で自分の国語力を高める努力をしてください。

【1年生五高ベーシック】年間指導計画

科目名	五高ベーシック	学 年	1	単位数	2
教科書	進路マップマナトレ（ベネッセ）及び自作テキスト				
副教材	進路マップマナトレ（ベネッセ）及び自作演習プリント				
学習のねらい	五高1年生の弱点や高校での学習に復習しておくべき分野を重点的に学び直しをして、義務教育段階での学習内容を定着させ、高校での学習にスムーズに取り組めるようにする。				
学 習 内 容			到 達 目 標		
1 学 期	【英語科分野】 語法（人称、数、代名詞、be動詞） 【数学科分野】 計算の基礎（四則演算・小数・分数・比）、 割合・単位（百分率・歩合と小数・分数）		【英語科分野】 人称、数に関する概念を理解させる。 【数学科分野】 基本的な計算能力・一般常識を身につける。		
2 学 期	【英語科分野】 語法（be動詞の否定文・疑問文・現在形・過去形、一般動詞の現在形・3人称単数・否定文・疑問文）、単語、文化教養基礎 【数学科分野】 割合・単位（百分率・歩合と小数・分数）、 量と測定、様々な数（正負の数、平方根）、 方程式・不等式		【英語科分野】 be動詞、一般動詞の語法について理解する。文の転換について理解する。 【数学科分野】 基本的な計算能力・一般常識を身につける。		
3 学 期	【英語科分野】 語法（一般動詞過去の否定文・疑問文、助動詞） 【数学科分野】 様々な数（正負の数、平方根）、方程式・ 不等式		【英語科分野】 一般動詞（過去）の文、助動詞を含む文を正確に読んだり書いたりできるようにする。 【数学科分野】 基本的な計算能力・一般常識を身につける。		
評 価 方 法					
1. 前ページ参照のこと。					
学習のアドバイス等					
1. 配布プリントは必ずファイリングすること。					